

Richart ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第134号

nanae historical
museum collection

ななえ古写真物語

VOL. 134

昭和の七飯駅前

旅館吉田屋のこと

昭和50年頃か

本町 七飯駅前



この写真をみて、どこなのかわかる町民はまだ多いだろう。建物というものは、失われたり、新たなものに変わると、どうしても、当時の様子が思い出されにくくなる。こと最近の変容は急速なので、少ししか経過していないと思われる写真を、この紙面上で紹介することは、なんらかの形で、後の記録に繋がるのではないかと思っている。

さて、「旅館 吉田屋」の紹介である。2階建てで、5部屋15名定員の旅館だった。1階はガラス引き戸の入口。店の前に停まっている自動車も自転車も、ひと昔前のデザインで、どこか懐かしい。いかにも昭和な雰囲気である。となりに「かもめ荘」という看板が掲げられているが、軒が連なった1階部分は、たばこや塩の対面販売が出来るスペースとなっており、懐かしいデザインのコカコーラやHi-Cの自動販売機が並んでいることから、商店であると思われる。

この2つの建物から、突き出る煙突やテレビアンテナの形状。先に記した車や店の雰囲気、さらには、『七飯町史』にも、吉田屋の写真が掲載されていることから、撮影年代は、昭和50年頃と考えている。

道路が整備され、周囲の建物も変わったので、今となっては面影はないが、この旅館は、七飯駅前にあった。そこで、昭和32年に発行された「七飯町市街地案内図」を確認すると、吉田旅館は、大衆食堂も兼ねていたことがわかった。さらに、隣の「かもめ荘」は、日用品などを販売する「吉田商店」と記され、さらに右隣にも、燃料を販売する別の「吉田商店」があったことが記されていた。

さらに遡って調べてみたところ、個人の記憶をもとに描かれた七飯村絵図（昭和17年頃の様子）にも、吉田屋らしい建物が描かれていた。場所も特徴的なガラス引き戸も、上の写真を彷彿とさせるものだったので、この頃にはすでに、旅館があったと思われるが、それよりも昔については、判っていないし、平成11年刊行の「ゼンリン住宅地図」には、吉田屋の文字が記されていない。

人の記憶は、あやふやになることが多い。だから、地図や絵図と比較できると、時代考証の精度が高まって良いのだが、都合の良い地図が中々残されていないのが難点でもある。あらためて、町並みの記憶を残すことの大変さを感じている。

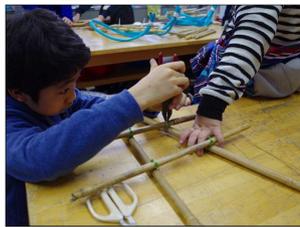
9日

夜の博物館第2夜を行いました。テーマは「展示のつくり方・見方」。歴史館での展示の作り方の解説をしました。テーマを決めてからの流れを説明した後は、季節に添うことやマンネリを防ぐための工夫、施設の特性を良く考えた上で、収蔵資料をリストアップし、展示物に強弱を付けた並べ方などをお話しました。また印刷されたポスターの貼りあわせを受講者の皆さんに体験してもらいました。見方を変えると、新たなことに気がつける。そんな講座になっていたなら幸いです。



26日

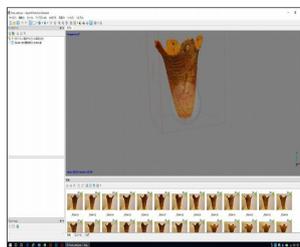
この日はかんじき作りに挑戦したジュニア探検クラブの子どもたち。ペンチ、ニッパー、針金などの道具とゴムホースを使い、製作スタート。細かな手先を使う作業に不慣れな子どもたちが多く、苦戦していた様子。それでも出来上がった子どもたちから、外へ出て履き心地を試していました。紐が何度も外れ、自分なりに工夫しながら結び直し、雪の上を歩く感覚を体感すると、「ほんとだ～。沈まない！」と寒さを吹き飛ばすような声が聞けました。



3Dで土器が見られます。

常設展示室で整然と展示されている七飯町出土の土器や土偶たち。正面から見るのが多いこれらの出土品を様々な角度から細部まで見てみたいと思ったことはありませんか？この度数々の苦難を乗り越えて、ホームページ上でご覧頂けるようになりました。

現段階では5点と少なく、お使いのパソコンの環境によっては、ご覧頂くことが出来ない場合もありますが、改善を重ねていきますのでどうぞお楽しみに。



編集後記 ~tawagoto~

バードテーブルにアカゲラが来るようになった。目的は脂身のようなものである。普段はカラ類が多い中、ある程度の大きさで、しかも、色彩がはっきりとした鳥が訪れてくれると、なんだか嬉しくなる。鳥だけかと思いきや、そうではないようで、足元に目をやると、点々と続く小動物の足跡も。どうやら、エゾリスが訪れているようである。見えなくとも、多くの動物たちの息づかいを感じるのも、冬の醍醐味なのだなと思う。(やまだひさし)

3月の予定

1	金	企画展開催中
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	夜の博物館 ↓
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	冬の探鳥会
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	ピチャリ135号発行予定
21	木	春分の日
22	金	
23	土	ジュニア探検クラブ
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

3月の休館日はありません。

風景印

その土地にゆかりのある風景や名所などを描いた風景印。右は大沼郵便局のもので。



Pichari

~ピチャリ~

第134号

平成31年2月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp